

「わがこころの風景」

この十月で名古屋から生駒へ移り住んで丁度七年となりましたが、当時六十代最後の年であった小生も、あと三年余りで八十路を迎えることになり、歳月の流れの速さに今更ながら驚いております。

さて、最近小生が楽しみに見ているテレビ番組に NHK・BS プレミアムの“にっぽん縦断・こころ旅”があります。視聴者から寄せられた“思い出の地・こころに残る風景”についての手紙を紹介し、俳優の火野正平氏がサイクリングしながらそこを訪れるという番組です。

ところで、小生にとっての“こころの風景”は少年時代を過ごした彦根にあります。自宅から三百米ほどのところに琵琶湖へ注ぐ芹川という小さな河川がありました。その土手に上がると、当時は高い建物もなく民家の瓦屋根が一面に広がり、その中に緑に囲まれた井伊家の居城・彦根城の白亜の天守が望まれました。そして、冬になるとその後雪を被った伊吹山の雄大な姿が見られました。少年時代に飽かず眺めたこの風景こそ“わがこころの風景”です。

校友のみなさんは、どんな“こころの風景”をお持ちでしょうか。特に出身地が奈良県以外の方には必ず懐かしく思い出されるふる里の風景があるとお思います。一度この機会に思い出してみられては如何でしょうか。

昭和 35 年 商学部卒業
牧 正彦